

近隣センター移転対策委員会議事録

1. 日時 : 2017年1月28日(土) 19:00~20:30
2. 場所 : 東町会館1階集会室
3. 出席者 : 小川(委員長)・清水(副委員長)・原(福社会長)・勝久山地(防犯)・藤田(GM)・中村(桜ヶ丘)太田、西田(街角広場)

豊中市

武川、内田(千里ニュータウン再生推進課)

中井、鎌田(資産管理課)

1. 委員長、副委員長の選任

会議冒頭、前年度に引き続き、小川浩一氏が委員長、清水博文氏が副委員長を務める事で了承を得ました。

2. 新地区会館レイアウトに関する事と今後の流れ

- ・千里ニュータウン再生推進課より、「提出された計画図は384㎡であるが、全600㎡の内、地区会館に充てられる面積は300㎡が限界。約150㎡が郵便局、残りの約150㎡に市の関連施設の予定」との説明があり、300㎡に沿って、3月末までに新地区会館レイアウトの具体案、遅くとも8月には内装を含めた決定をしたいとの説明がありました。
- ・現在、東町会館の管理責任者でもある委員長より、各部屋の具体的な利用状況の説明があり、大集会室1部屋と小集会室2部屋が必要(和室は利用頻度から常時必要はなく、畳マットを敷くなどの対応で可能)、現在の利用頻度にならい、基本は大1、小2部屋で各種教室、会議などに対応する。使用目的に応じてパーテーションで大集会室を合わせ大ホールとする(新春交歓会、地域住民説明会など)。現在のような共用トイレではなく、男女別はもちろん、多目的トイレも必要との見解が示されました。
- ・引き続き資産管理課より、パーテーションは維持管理の面で難があり、もし破損(故障)した場合には、大規模改修並みの費用がかかるので、それに代わるようなプランで代替頂きたいとの意見がありました。

これまで東町会館のパーテーションが壊れたと聞いた事は無いので、使用頻度にも依るのではないかと、東町では大丈夫ではないかとの意見もありました。(年3回程度使用)

- ・理事会での意見として、可動式のキャビネットでの間仕切りはエアコン等の空調にかかわる光熱費、会議使用時に於いてプライバシー（隣室からの騒音もれを含む）の面で問題があるので、通路との境界は壁で仕切るのが望ましいとの意見があり他の委員からの同意を得ました。
- ・プランが変わるならば立体模型を作り、みな意見を聞いた方がいいとの意見が出ましたが、他の委員より3月末までに新地区会館レイアウトの具体案を詰める必要があるため、今からではスケジュール的に難しいのではないかと意見もありました。
- ・続いて委員長より、当初の図面は総会にも提示されており、今年度、豊中市と調整を進めていくのが委員会の役割であるとの見解が示され、既に数回に及ぶワークショップ、地域住民説明会、理事会、HP、ひがしおかなどでも地域への告知は繰り返し行っているため、計画通りスケジュールに沿うべきとの意見がありました。

3. 384㎡から300㎡へ

- ・豊中市より、当初の計画図面の384㎡を300㎡に圧縮したらいいとイメージしていたが、今回の話し合いで大集会室1、小集会室2、北側に面したオープンスペースと一体化した空間（オープンカフェ的なもの）、男女別トイレと多目的トイレの優先度が高いとの理解でいいのか確認があり、その通りで間違いはないが、大小集会室は極力パーティションで仕切ってもらいたいと再度委員会側から要望しました。
- ・委員長より、現在の利用状況を鑑み、元の計画図を300㎡に修正したラフ図が提示されました。（あくまで目視用のラフ図）
- ・現在の利用状況に加え、東町側の要望を反映させた300㎡の図面を豊中市が2種作成し、出来ればそれをもとに模型を作成し、図面とともに、委員会に提示する事で合意を得ました。

次回委員会で新しい計画図を確定し、最終的に理事会で承認を得る事で合意しました。
(次回委員会は、豊中市作成の計画図が提示された時点で開催日を決める事としました。)

次回委員会

日時：2月、3月開催（日時未定）

場所：東町会館1階集会室

以上